

寸言

中菱エンジニアリング株式会社
取締役社長
松並 秀幸



中部を将来航空宇宙ビジネスの発信地に！

本年4月に入会させていただきました中菱エンジニアリングの松並でございます。

弊社は三菱重工のグループ会社で同社グループの中部地区におけるすべての事業（航空宇宙・冷熱・産業機器）に関わる技術作業全般を支援しております。

1974年創業以来、本年10月で36年になりますが、航空宇宙分野の売上比率が発足当時の3割から7割と大半を占めるようになりました。このたびの入会で、既に航空労協に加盟している労組とともに、会社としても名実とも航空宇宙業界の一員となれたとの感慨を抱いております。

この間、我々の役割分担も大きく様変わりし、技術・経営両面とも、自立・自律を求められ、重工グループとしての成果を最大・最適とする動きとなるよう務めております。

我々の活動拠点の中部地区（Greater Nagoya）は我国航空宇宙産業の最大の集積地であり、大型民航機／エンジン国際共同開発生産、H-II B／HTV開発実用化、MRJ国産開発、C-X／P-X／F-X／技術実証機等防衛省プロジェクト、等々、次代を担う夢多き事業がこの地で展開されており、官民挙げての更なる基盤強化も図られております。

弊社も微力ながら、これらの殆ど全てに参画させていただき、設計・解析のみならず、ソフトウェア開発、試験業務、生産支援、プロダクトサポートといった技術作業全般に対応しております。

エンジニアリング会社としてのベースとなる人財育成、技術力向上を通じ、中部の航空

宇宙産業の更なる発展に寄与できるよう、重工グループのみならず、航空宇宙を支える／支えようとされている諸機関・諸企業をサポートすべく、現在実施していることは、東尾張地域航空機産業活性化人材養成等事業（名大CATIA等教育講座）への要員派遣、NADCAP認定取得等、を実践しております。

激動を続ける世界情勢の下、加速度を増して進行しつつある産業構造の多様化・グローバル化に、先見性を持って、追隨していく弛まぬ努力が求められますが、やはり、大切なものは、下支えする基礎技術——人間で言えば幼児期に培われる人格形成的なもの——であり、これを育む環境・仕組みを会社・社会ともども維持・改善していくことが肝要であると考えています。これがなされてはじめて、産業人としての人財育成が可能となります。中部が航空宇宙ビジネスの発信地になることを目指して、会社としてやれることを追求していく所存です。

今後益々、グローバル化で市場や生産拠点の流動化が進みますが、航空宇宙産業は元々グローバルな事業であり、幸い三菱重工グループ会社という恵まれた環境で事業をさせて頂いております。ここ中部を航空宇宙産業の拠点として足場を固め、「空・宇宙からの視点」で将来ビジネスを創生し、世界に発信していける活力ある地域を目指す取組の一翼を担いたいと考えています。

今後とも皆様のご支援をいただけますようお願い申し上げます。